



明日をつむぐ



特集 わが事業所のイチオシはこれだ!

放課後等
デイサービス **さざなみ**

no.05

詳細記事はP4~5

Topic

- 笑顔みつけた! P3
- みなととわたし P3
- 相談支援の窓から P6

みなと福祉会事業報告

2021年度も新型コロナウイルスの対策をもとめられる1年でした。夏の時点では、限定的な感染で抑えることができましたが、第6波のオミクロン株の広がりとともに2022年1月から3月にかけて利用者、職員あわせて20名をこす感染者がでました。ほとんどの日中事業所において断続的に閉所を余儀なくされました。

3 コロナ禍で、対面での販売が難しい状態がつづき、しおかぜ作業所の弁当販売やうろじの家のパン販売が大きな打撃をうけました。そんな中でも、ネット販売を模索したり、新たな販売先を獲得するための営業活動などに積極的にとりくんできました。

〈事業・支援について〉

1 日中事業所においては、特別支援学校から新たに4名の入所者がありました。一方で、他法人の支援施設に移られた方や亡くられた方もあり、つらい別れとなりました。放課後等デイサービスでも数名の卒業生がありました。新しい契約者も受け入れることができました。

4 新型コロナウイルスへの対策としては、1月から連日のように感染者や濃厚接触者が発生しました。コロナ対策室を中心に対応を統一し、迅速に濃厚接触者の特定や検査の実施、家族・関係者への連絡などをおこなってきました。2名の方が入院する事態となりましたが、回復し通常の生活にもどることができました。

2 4年目となるミラクルファームⅡ畑作業では、着実に収穫量と売り上げを伸ばしてきました。イルカ作業所とうろじの家の仲間たちが、年間をとおして畑に出かけ、じゃがいもやニンニク、さつまいもや白菜などを栽培、収穫しました。しおかぜ作業所やわーくす昭和橋に販売し、給食に加工されて自分

5 職員の採用については、新規の卒業生を6名採用することができました。一方、退職者は、はじめて10名を超えてしまいました。法人および各職場において事業計画の共有や職員の集団づくり、個々への援助をていねいにおこなっていくことが強くもとめられています。

〈運営・経営について〉

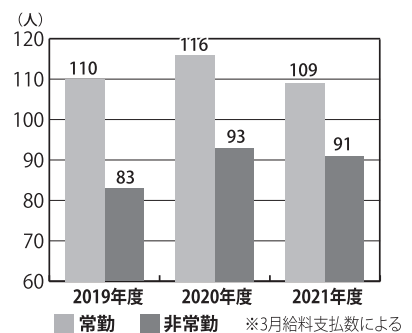
6 労働条件の改善については、子育て世代への支援策として時差出勤制度と育児短時間制度の拡充をしました。また処遇改善臨時特例交付金を2月からすべての職員に、月額7500円ずつ支給を開始（准職員は一時金対応）しました。

〈運動面など〉

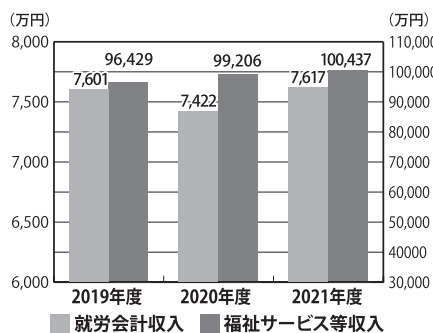
7 経営面では、開所日数の確保などの努力により福祉サービス等事業収益については、増収することができましたが、人件費の伸びなどに押され、当期活動増減差額は事業収入の1.4%にとどまりました。

8 各種の署名のとりくみについては前年度の実績まで及びませんでした。対面での依頼が難しい状況ですが、意義を確認しあい理解者を増やしていく必要があります。名古屋市生活支援事業所連絡会や愛知県民間社会福祉施設経営管理者会議などにも役員を派遣し関係団体との交流をはかり、行政交渉などにもとりくんできました。

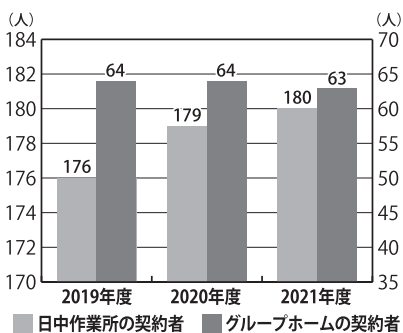
職員数の推移



就労会計収入・福祉サービス等収入の推移



日中作業所・グループホーム契約者数の推移



笑顔 みつけた!

Vol.06



わーくす昭和橋
前野和恵さん



毎日、元気にいきいきとした足取りで、グループホームからわーくす昭和橋へ通所されている前野さん！

いろいろなジャンルのお話に花を咲かせながら、仕事にも励みます。健康志向の同志に声をかけて、好きな食材の仲間を募る「同盟」(チーズ同盟、オクラ同盟、納豆、トマト、ドライカレー…などなど)も主催しています。

そんな前野さんのパワーの源を聞いてみました！

Q わーくすで頑張っていることは？

A 「お箸の仕事」

Q これから挑戦してみたいと思っ

ていることはありますか？

A 「仕事を頑張りたい」

Q わーくすではどんなことが楽しいですか？

A 「みんなでいる時間が楽しい」

Q 好きなごはんはありますか？

A 「ポリタン！これが一番！」

Q よくいろいろな音楽の話をする前野さん！一番好きな音楽は？

A 「SMAP」

Q では、好きなテレビ番組はなんですか？

A 「アメトーク！」

Q おもしろいですよね！特に好きな芸能人は誰ですか？

A 「蛭原さん(雨上がり決死隊)と浜田雅功さん(ダウンタウン)」

Q 休日の好きな過ごし方は？

A 「テレビをみる」

Q 休日によくいろいろな場所に出かけた話や、食べに行ったお話を楽しく話してくださいますが、特に好きな外出先はどこですか？

A 「うーん、イオンかなあ！」

Q これからの目標を聞かせてくださいー！

A 「元気に暮らしていきたいですー！」

職員紹介

みなと わたし

Vol.06

しおかぜ作業所
伊藤早織さん

中間の会の担当としても活躍している伊藤さん。現在の仕事への思いなど綴っていただきました。



あつという間の8年

しおかぜ作業所の配食グループに所属しています。みなと福祉会に入職し、あつという間に8年目となりました。入職した当時は、障害のある仲間との関わりは初めてで、どのように接し、声を掛けたいのか試行錯誤しながらの毎日でした。発語が苦手、変化が苦手…それぞれの仲間個性があつて支援の仕方も様々でした。支援って難しいと感じる反面、思いが通じた時には嬉しく、やりがいを感じながらやることができました。毎日、一緒に仕事をしていく中で、少しずつ理解していきました。

作業所の中間の会では、署名活動、しおかぜまつりやふれあい広場、成人式…作業所全体の活動の中心となり運営を行いました。年度末には中間の要求をまとめた要求書を所長に渡し思いを伝えるなど、一年を通して活動しています。今はリモート開催になってしまっている利用者学習交流会。以前は、仲間と一緒に県外に行き他事業所と交流をしていました。なかなか、他事業所の事を知ることができない中、とても良い機会で、仲間自身も名刺交換をして自己紹介し、どんな仕事をしているのかを聞き、仲間が主体性をもって楽しく参加していました。

様々な活動を通して、中間の新たな一面が見えたり、経験の積み重ねによってできることが増えていたり、日々発見があり楽しく、仲間と関わることでできています。これからも、楽しく活動ができるような作業所にしていき、また、経験してきたことを活かしながら、仲間と一緒に成長していきたいと思っています。



特集

わが事業所のイチオシはこれだ!

no.05

放課後等
デイサービス

さざなみ

さざなみの
いちねんかん

遊びの中に
新たな発見!!

春

みんなでお花見



ひな祭り

卒業おめでとう!

節分



クリスマス会



冬

運動会



夏
はっけよいのこった!!



夏祭り



ミュージックケア



ハロウィン

秋

さざなみの春夏秋冬

障害児デイケアさざなみ

未就学から小学生までのお友達が、毎日わいわい楽しんでいます。年上のお兄ちゃん、お姉ちゃんのマネっこをしたり、年下のお友達のお世話をしたり、日々成長し合っています。月ごとに活動を計画し飽きがないように工夫しています♪



児童デイサービスさざなみ

元気いっぱいの中학생から高校生の子どもたちが通っています。遊びやレクリエーション、創作活動など、楽しみながら取り組むことのできる活動を取り入れ、個々の成長、発達に応じた支援をしています。



さざなみの基本姿勢・方針

1. 子どもの目線で支援します。
2. 子どもたちが地域で安心して生活できる社会をめざします。
3. 家族支援を行います。

日 課

平日	夏休みなど
15:30 始まりの会	10:30 始まりの会
15:40 取り組み	10:40 取り組み①
16:30 おやつ	12:00 お昼ご飯
16:40 自由遊び	13:00 取り組み②
17:00 帰りの会	15:00 おやつ
	15:30 取り組み③
	16:30 帰りの会

「放課後等デイサービス事業」「児童発達支援事業」って？

放課後等デイサービス事業とは...

障害のある学齢期児童が学校の終了後や土曜日や夏休みなど学校がお休みの日に通う、療育機能・居場所機能を備えた福祉サービスです。「障害児の学童保育」とも呼ばれています。略して「放デイ」ともいわれています。

児童発達支援事業とは...

心身の成長や発達に心配のある就学前の子どもが、日常生活における適切な習慣を身につけるための基本的な動作等を個々の発達の状況に応じて指導訓練等を行うサービスです。また、他の子どもと接する中で集団生活への適応力も養っていきます。

この他にも誕生日会やお出かけなど楽しい企画がいっぱいです。たくさんのボランティアさんにも手伝って頂いています。

農福連携で地域を豊かにする 「ご当地餃子」を開発します



みなと福祉会ではここ数年、法人を上げて農福連携に取り組んできました。そしてついに「自然栽培」のニンニクを、この地で栽培することに成功しました。とてもすごいことだと思っておりますが、栽培した方たちも、そのまわりの方たちもその価値がどれほどのものなのか、実感としてもない状況でした。

自然栽培とは、地球環境に負荷を与えない農法で、食べても体にやさしくて、安全でおいしい野菜を栽培するこれからの未来の農法です。

このニンニクを使って餃子を作れば、食べた人も元気になるし、食べた方から「おいしい」のフィードバックもあれば、ニンニクを作ったみんなも元気になるのではないかとやる気になったり、実感がもてるのではと思ったわけです。

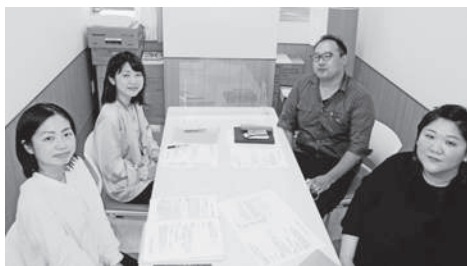
幸い私たちは、肉まん製造という素地があります。この経験を生かして、みんなのためにもやるしかない。やるべきだと思つたのです。

そして、この餃子を開発するプロジェクトが始まりました。

このプロジェクトは、名古屋が統括する障害者支援窓口の「ウエルジョブなごや」さんが、全面的にバックアップをする形で開発が進められております。1事業所だけでは難しい側面を支援してもらっています。

また、同じ福祉事業所の防災備蓄用の「パンの缶」の製造販売に取り組む「名古屋ライトハウス」さんも、この餃子プロジェクトに共感されて、地元食材を使った「ご当地餃子」を知多三元豚を使用して一緒にやるということので、その輪が広がっています。

そこでみな様にお願ひがあります。商品完成に先立ち、開発費用等を「クラウドファンディング」で資金集めをしています（8月末まで）。今回は、純粋な寄付ではなく、必ず完成した商品が届きます。（9月中旬〜下旬）こちらのQRコードをスマホで読み取り、案内にしたがってご入力下さい。ご協力をよろしくお願ひ致します。



相談支援の窓から

Part.06

「ホームヘルパー・ガイドヘルパーを
望む人たち」

私が働く相談支援事業所は、法人内の利用者さんや地域の利用者さんの相談を受けており、その中でもヘルパーを探してほしいという相談は比較的多いです。ヘルパーの種類としては、居宅身体、居宅家事、移動支援、重度訪問介護、行動援護などがあります。利用者さん本人やご家族の希望する時間帯と希望する内容をお聞きする中で、それに対して本当に必要な支援かどうかの見極めと、本人が今後の支援に向けての内容になっているかどうかの話し合いをしながら確認しています。利用者さんにとって在宅生活を維持していくためにはヘルパーさんの存在はかなり重要な福祉サービスであることは間違いないでしょう。例えば、独居の精神障害の方では支援内容をすすめていく以外にも本人の話を聞く（話し相手）というのも重要な役割のひとつになっていきます。精神障害の方は誰かに話を聞いてほしいという気持ちの強い方が多く、ヘルパーさんに来ていただく目的のひとつであると考えられています。利用者さんによって利用目的は様々であり、障害特性も人それぞれ違うので、相談内容によってはいろいろな視点から考えなければなりません。

私としては、今後ヘルパー事業所をつないでいく中で、本人が望む支援を考えていきながらヘルパー事業所の利用によって、より生活の一部として本人の生活が豊かになっていけばいいなと強く願っております。

（相談支援事業所あしたの家 犬飼誠）

☆☆☆
イルカ作業所
和柄ふきん
最優秀賞受賞!



ウエルフェアトレード・コンペ 2022 (名古屋市障害者就労支援窓口ウエルジョブなごや開催の障害者福祉事業所の生産活動の認知度の向上、商品の販路拡大と商品力向上を目的としたコンペティション)の手工芸部門にイルカ作業所から和柄ふきんを出品しました。

書類審査を経て、5月11日にオンラインでの審査会があり、持ち時間5分をフルに使ってアピールをしました！その結果、全12品の中から最優秀賞を受賞!!!

審査員からは、古布を用いている点や高い品質管理をしている事、SDGsの要素が多く含まれている点で高い評価をいただきました。最優秀賞受賞の特典として7月に行われた八事興正寺のマルシェにて販売させ

ていただき、また名東区の雑貨店に商品を並べられることになりました。

受賞の一報を聞いた仲間は「選ばれてよかった！うれしい！」と喜びの表情であふれていました。担当職員は「とても緊張しましたが、和柄ふきんやイルカ作業所のことを知っていただけで良かった」とコメント。審査の細やかなフィードバックもあり、今後の商品づくりのヒントとなるアドバイスもたくさんいただき、たいへん貴重な経験となりました。

ふきんを使う方が減ってきていますが、今回の受賞でふきんの良さ、魅力が多くの人に伝わっていき、実際に購入し、使ってもらえるように...と願っています。

編集後記

明日をつむぐ「立秋号」はいかがでしたでしょうか。

立秋は秋の始まりで夏の暑さが極まり秋に向け季節が移り変わり始めるという意味です。暦の上では立秋の翌日からの暑さは「残暑」と呼ばれます。日頃お世話になっている方などへ送る挨拶分は立秋までは「暑中見舞い」、立秋翌日からは「残暑見舞い」となります。ちなみに、今年の立秋は8月7日。

手紙離れが進んでいますが、コロナで久しく会えていない人に残暑見舞いを出してみるのはいかがでしょうか。

特集は「さざなみ」でした。コロナ禍の活動で制限がかかりますが工夫をして四季を感じることは大切だなと思いました。

また「ご当地餃子プロジェクト」の紹介もありました。こんなご時世ですが、食を通して皆が元気に笑顔になることは素敵なおことですね。それに関わっているとかなおのこと。

ご協力いただいた皆さまありがとうございました。次回の「明日をつむぐ」もお楽しみに。

(加藤 剛)

うろじの家の仲間たちが TOMO(7月号)の表紙に



きょうされんの発行する情報誌「月間きょうされん TOMO」の表紙にうろじの家の3人の仲間たちのすてきな笑顔が掲載されました。

また、「働く・WORKの現場から (5ページ)」では、しおかぜ作業所の仲間の成長する姿が紹介されています。

是非、ご覧になってください。

ともに育つ会 ニュース



港区障害者(児)とともに育つ会
〒455-0803 港区入場1-114-1
TEL(052)355-8000

2022年  立秋号

2022年度とともに育つ会

総会開催

港区障害者(児)とともに育つ会 会長 磯崎明美

2022年5月30日(月)「港区障害者(児)とともに育つ会」は2022年度総会を、わくす昭和橋4階・大海ホールにて開催しました。

この間、新型コロナウイルス感染症拡大により、2019年4月に総会を開催して以来、久しぶりの総会となりました。

来賓として前名古屋市長議員山口清明氏、愛知県障害者(児)の生活と権利を守る連絡協議会から山口敏夫事務局長に

参加して頂き、ご挨拶を賜りました。

総会では、2021年度事業報告・決算、2022年度方針・予算・役員体制を承認し、磯崎会長を再選しました。2022年度要求書については、今後も論議・検討を重ねて、まとめ上げ、港区との21回目の懇談会に繋げていきたいと考えています。

障害があるがなかるうが、誰もが暮らしやすい街づくりを目指して、今後も運動を進めて行く決意ですので、よろしくようお願い致します。

学び、実践に役立つ役員会に

2022年度のともに育つ会の役員会は、従来の報告中心の役員会を改め、「参加して学べる役員会」をめざします。「学び」と「要求の掘り起こし」の2本柱を立て、今年度の活動を進めていきます。

その第一弾として、7月13日(水)に、南陽交流プラザにて、第1回拡大役員会を開催し、愛知県社会保障協議会理事の吉田孫之氏ひろゆまを講師にお招きし、愛知県社会保障協議会が発行している「知ってトクするパンフ 2022年度版 医療・介護、税金の負担軽減策」の学習会を行いました。

生活を守る様々な制度があっても、申請主義が基本の日本の中にあつては制度を学び、よく知らないと活用することはできません。制度は、我々の運動の歴史であり、成果でもあります。これからも学び、国民の暮らしを守り、ゆたかにするた

めの制度の拡充に結びつけていきたいと思います。



ともに育つ会 後期の主な年間計画

- ・愛知母親大会
9月25日(日) 名古屋市公会堂
- ・港生涯学習センター文化祭
(展示系) 11月12日(土)～13日(日)
(舞台系) 11月19日(土) 港文化小劇場
- ・港区障害者自立支援連絡協議会 総会
12月1日(木) 港文化小劇場
- ・障害者週間記念の集い
12月4日(日) 名古屋市公会堂

あなたも障害のある人たちのサポーターに 受講生を大募集!

社会福祉法人 みなと福社会 ガイドヘルパー養成講座

〈知的障害者・移動支援事業従事者養成研修課程〉

この講座は名古屋市の知的障害者移動支援事業従事者（ガイドヘルパー）の資格が取得できる講座です。ガイドヘルパーとは、障害者の通院や余暇活動などの外出に付き添い、その社会参加を応援する仕事です。本講座を修了された方は、「ネットワークみなと」など名古屋市内の移動支援事業者のガイドヘルパーとして登録・活動していただくことができます。

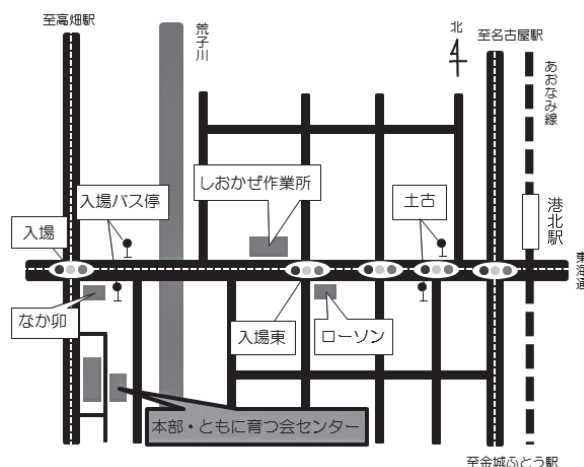
日時

2022年
9/12(月)・13(火)・17(土)

会場

みなと福社会
本部・ともに育つ会センター 会議室
名古屋市港区入場一丁目 114 番地 1
(あおなみ線 港北駅より徒歩7分)

※新型コロナウイルス感染状況等により、1・2日目（講義）はオンラインとなる場合があります。3日目は現地演習。



受講資格

☆ 18歳～65歳の健康な方
☆ 3日間すべての講座に出席できる方（※補講あり）

募集定員

16名

申し込み方法

申込用紙にご記入の上、FAX または郵送で下記までお申し込み下さい。
定員を超えた場合は、活動出来る方を優先させていただきます。
※下記までお電話いただくか、法人ホームページより申込みください。

受講料

学 生 (25歳以下)	5,000円	(演習費・テキスト代含む)
一 般	10,000円	※研修初日に徴収いたします。 ※演習にかかる交通費別途必要

申し込み期間

2022年8月1日(月)～9月5日(月)

問い合わせ先

社会福祉法人 みなと福社会
ネットワークみなと 〒455-0803 名古屋市港区入場1丁目204番地
TEL 052-383-2280 / FAX 052-304-7057 担当：石川・川又

2021年度 決算報告

法人名：社会福祉法人みなと福祉会
自：2021年4月1日
至：2022年3月31日

資金収支計算書

(単位：円)

勘定科目	金額
就労支援事業収入	55,005,608
障害福祉サービス等事業収入	999,977,990
借入金利息補助金収入	2,384,198
経常経費寄附金収入	6,477,850
受取利息配当金収入	3,884
その他の収入	16,667,168
事業活動収入計	1,080,516,698
人件費支出	744,795,812
事業費支出	78,164,102
事務費支出	138,615,737
就労支援事業支出	67,443,923
支払利息支出	4,166,688
事業活動支出計	1,033,186,262
事業活動資金収支差額	47,330,436
施設整備等補助金収入	20,857,342
施設整備等寄附金収入	0
設備資金借入金収入	0
固定資産売却収入	0
その他の施設整備等による収入	48,500
施設整備等収入計	20,905,842
設備資金借入金元金償還支出	40,144,000
固定資産取得支出	8,478,060
その他の施設整備等による支出	0
施設整備等支出計	48,622,060
施設整備等資金収支差額	-27,716,218
積立資産取崩収入	12,680,518
拠点区分間繰入金収入	0
その他の活動収入計	12,680,518
長期前払費用支出	0
積立資産支出	10,187,380
拠点区分間繰入金支出	0
その他の活動支出計	10,187,380
その他の活動資金収支差額	2,493,138
予備費支出	0
当期資金収支差額合計	22,107,356

前期末支払資金残高	422,924,878
当期末支払資金残高	445,032,234

事業活動計算書

(単位：円)

勘定科目	金額
就労支援事業収益	55,005,608
障害福祉サービス等事業収益	999,977,990
経常経費寄附金収益	6,477,850
その他の収益	0
サービス活動収益計	1,061,461,448
人件費	745,024,874
事業費	78,164,102
事務費	137,965,973
就労支援事業費用	70,779,904
減価償却費	56,386,301
国庫補助金等特別積立金取崩額	-26,578,973
徴収不能引当金繰入	22,801
サービス活動費用計	1,061,764,982
サービス活動増減差額	-303,534
借入金利息補助金収益	2,384,198
受取利息配当金収益	3,884
その他のサービス活動外収益	16,667,168
サービス活動外収益計	19,055,250
支払利息	4,166,688
サービス活動外費用計	4,166,688
サービス活動外増減差額	14,888,562
経常増減差額	14,585,028
施設整備等補助金収益	20,857,342
施設整備等寄附金収益	0
固定資産売却益	0
特別収益計	20,857,342
基本金組入額	0
固定資産売却損・処分損	3
国庫補助金等特別積立金取崩額	0
国庫補助金等特別積立金積立額	20,857,342
特別費用計	20,857,345
特別増減差額	-3
当期活動増減差額	14,585,025
前期繰越活動増減差額	647,213,236
当期末繰越活動増減差額	661,798,261
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	4,237,000
その他の積立金積立額	2,500,000
次期繰越活動増減差額	663,535,261

貸借対照表 2022年3月31日現在

資産の部	
流動資産	496,787,385
固定資産	1,289,111,257
基本財産	1,144,788,684
その他の固定資産	144,322,573
建物	2,831,233
構築物	31,374,975
機械及び装置	229,597
車両運搬具	12,243,803
その他の固定資産	97,642,965
資産の部合計	1,785,898,642

負債の部	
流動負債	117,259,178
固定負債	531,587,755
負債の部合計	648,846,933
純資産の部	
基本金	101,255,850
国庫補助金等特別積立金	352,376,389
その他の積立金	19,884,209
次期繰越活動増減差額	663,535,261
(うち当期活動増減差額)	14,585,025
純資産の部合計	1,137,051,709
負債及び純資産の部合計	1,785,898,642

2022年度

新人職員の紹介



2021年10月から2022年6月までに採用された職員のみなさんから入職のきっかけや趣味、アピールポイントなどを語っていただきました。



青木志織さん あしたの家

入職のきっかけはインターンシップや1日体験実習を通して、とても働きやすい職場であると感じたからです。

まだまだ慣れないことも多く、先輩方には迷惑をおかけするかもしれませんが、精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



西野智子さん わーくす昭和橋

今年の2月に入職して5か月になりました。初めは職場に慣れること、仲間たちの名前を覚えることに必死でしたが、先輩職員さん達にとっても親切に教えていただいています。仲間たちの関りも少しずつ増え、名前を覚えてもらった時は本当に嬉しかったです。まだまだ覚えることはたくさんあると思いますが、仲間たちとたくさんのお話を共有し、楽しく頑張りたいと思っています。よろしくお願いいたします。



小林雄一さん みなとホーム

私は前職で、老人保健施設や高齢者のグループホームに勤めていました。

福祉の仕事に就いた動機は、当時はまだ男性の介護職の方が少なく「自分でも役に立つのではないかと」考え、ヘルパー2級を受け職に就きました。介護福祉士を取ってからは、普通の生活を送ってもらえるよう心がけています。



一ノ瀬直美さん みなとホーム

外国人技能実習関係の会社に勤めていましたが、コロナ禍で入国がなくなり仕事もなくなりました。みなとホームの事務員募集があり、応募し今にいらしています。

以前は花見や海でBBQや湖やゴルフと大人数で遊びに行っていたのですが、現在はめっきりインドアになり観葉植物や花を育てています。



黒田雅敬さん みなとホーム

私は美容師8年、コンビニ店長10年と勤めてきましたが、母が障害者になり、ゆくゆくは介護が必要になると言われ、おそがけではありますが、ここで一人前の介護士を目指していこうと思いました。

初めてのことで戸惑う毎日ですが、仲間の笑顔に活力をいただいております。未熟者ではありますが、よろしくお願いいたします。



中村圭衣子さん しおかぜ作業所

しおかぜ作業所に入職して半年が経ちました。知識も経験もなく転職したので、分からない事ばかりで毎日があたたく過ぎていきます。

忙しい日々の中でも入職時に立てた目標である「1人1人としっかり向き合うこと」を常に心がけて毎日楽しく過ごしたいと思っています。



蟹江侑奈さん イルカ作業所

入職のきっかけは説明会や、1日体験実習での職員と仲間のあたたかさに触れ、みなと福祉会で働きたいと感じたからです。毎日やりがいを感じながら充実した日々を送っていますが、わからないこともたくさんあります。先輩職員や、仲間からたくさんのお話を吸収し成長していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



近藤陽平さん わーくす昭和橋

4月から働き始めて仲間のみなさんにも少しずつ名前を覚えてもらい、仲間の名前、顔も覚えてきました。趣味は中学生からやっているバスケットボールと、毎朝行っている筋力トレーニングです。

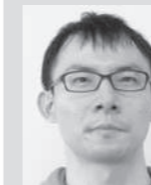
見かけたら声をかけてもらえたら嬉しいです。よろしくお願いいたします。



内海竜也さん しおかぜ作業所

私がみなと福祉会に入職したきっかけは、一日体験に行った際に職員と仲間の雰囲気がよく笑顔があふれており、楽しそうな仕事だと感じたからです。今は自分も仲間と笑顔で大切に仕事をしています。

支援することはもちろんのこと仕事仲間としてお互いに日々成長していきたいです。



服部真也さん あしたの家

4月に入職しました。趣味は食べることが好きなので料理をしたり、グルメやカフェ巡りを休日にしています。今年やりたいことはドラム、ボルダリング、グランピングとバンジージャンプがあります。

これからの目標は仲間や職員の皆さんに、明るく前向きな影響を与えられるようにますます邁進していきたいです。よろしくお願いいたします。



花井咲希さん あしたの家

4月に入職しました。大学時代に放課後等デイサービスでアルバイトをしたことがきっかけで障害について興味をもち始めました。

まだまだ不安なことも多いですが、仲間や職員の方々からたくさんのお話を学び、成長していきたいです。よろしくお願いいたします。



鈴木敏文さん あしたの家

今までは、車いすや日常生活用具などの販売や老人福祉施設、特別養護ホーム、移動支援、在宅支援といろいろと働いてきました。その経験をいかし仲間たちの気持ちに寄り添いながら安心、安全を心がけながら働いていきたいと思っています。

日々精進して、精一杯仕事に励むつもりです。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



平井信子さん わーくす昭和橋

昨年11月に入職いたしました。9か月経ち、ようやく環境に慣れてきました。まだまだ業務では理解できていないことや、悩む事もありますが、しっかり学んで日々成長していきたいと思っています。毎日、仲間や職員のみなさんから刺激をいただいて、楽しく働かせていただいています。私も周りの方々に良い刺激を与えられるよう、頑張りたいと思っています。



石躍幸代さん みなとホーム

私は老人ホームや病院などで働いた経験がありますが、以前から障害者施設での仕事に興味があり、今までの経験を生かし楽しく仕事をしたいと思い入職しました。

初めは分からず戸惑ったり、グループホームでコロナが流行って不安になりましたが、今は仲間が笑顔で迎えてくれることにとってもやりがいを感じています。



佐藤大寿さん みなとホーム

福祉について大学の時から興味があり、障害の分野で仕事をしたいと思っていた際に出会いがあり入職させていただきました。

今は自分のペースで仕事ができおり、今後は様々な資格取得を目標に努力しています。趣味は、お笑いを見て笑うことです。また人と話すことも好きです。